

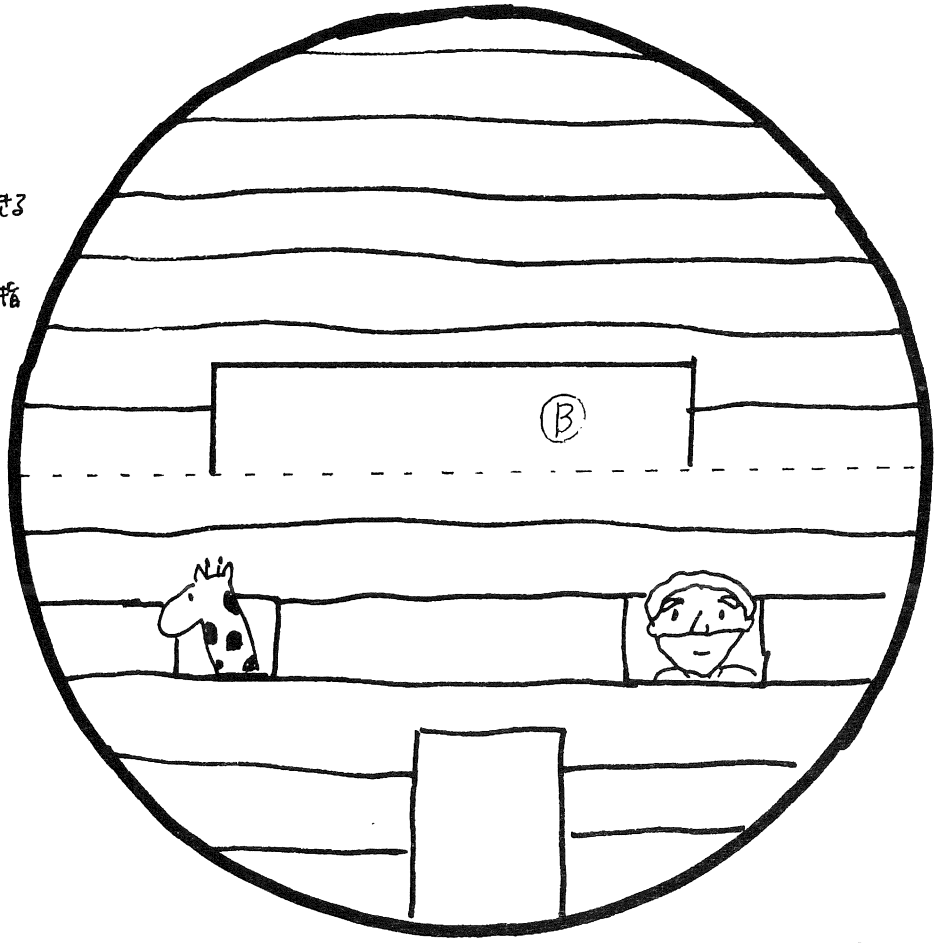
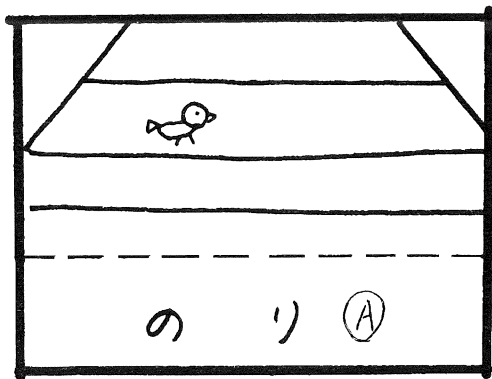
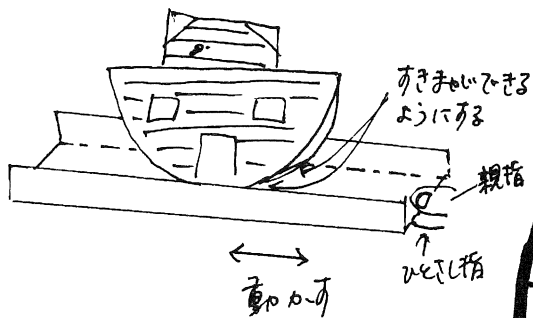


- ① 絵に色を塗る。②は水です。
- ② 太線で切り取る。③の...を山折りにする。
- ③ ④にのりをつけ。⑤にはりつける。
はりつける時に、④...を少し山折りする。
- ④ ⑥...を谷折りにする。
- ⑤ ⑦のようにして遊ぶ。



⑥

A 2011 7月10日 ころをきれいにしてくださるイエスさま

みよ、よのつみをとりのぞくかみの
こひつじ。 ヨハネ1・29

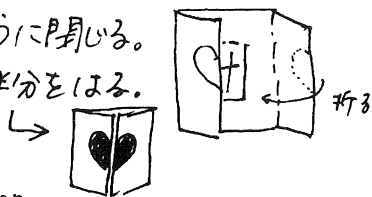
① ③は、罪のいびす、黒く塗り、太線で切り取る。

② ①、③も太線で切り取り、③の十字架まわりの太線に切り込みを入れる。①にのりをって③をはる。

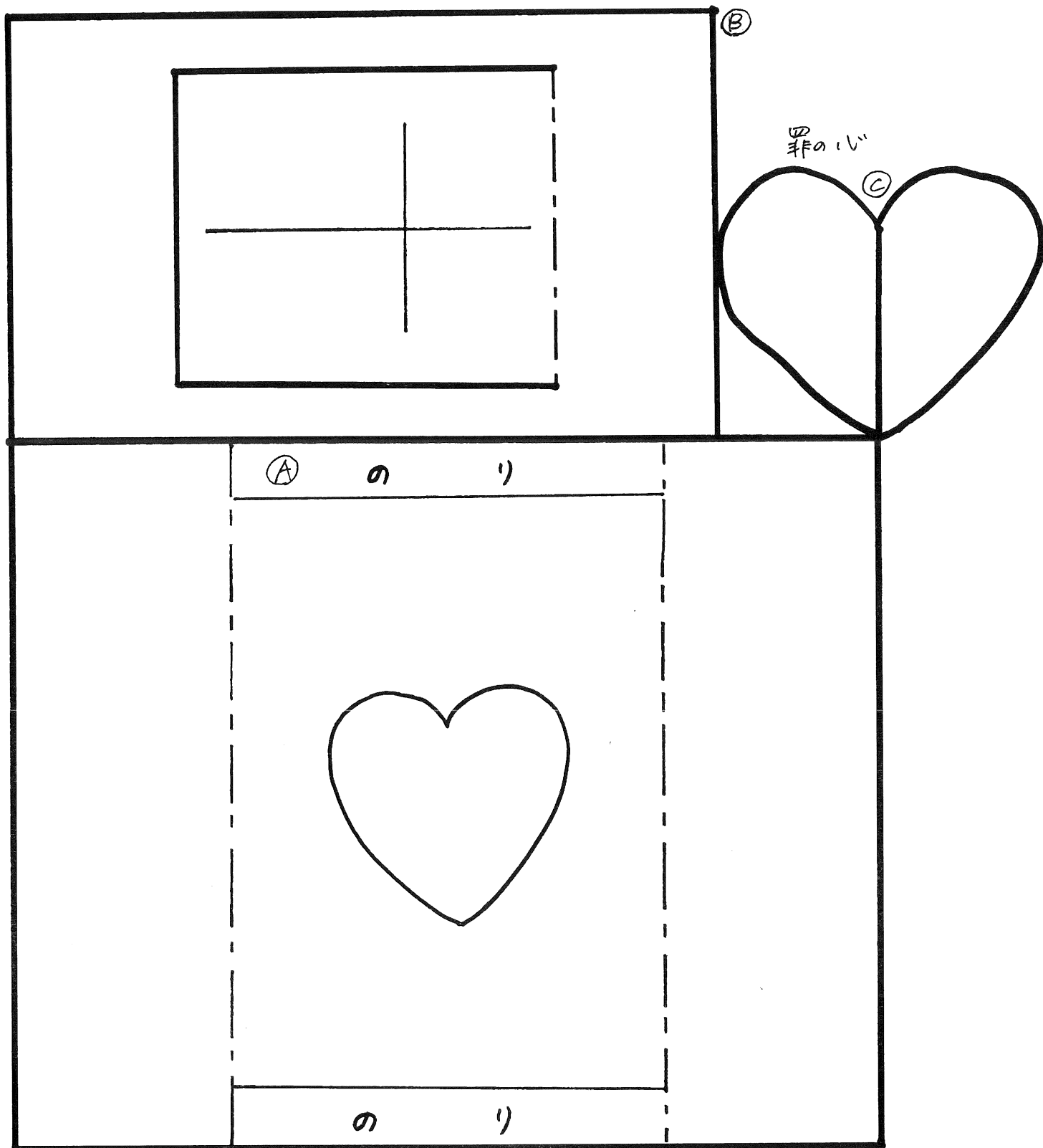
③ ①の---を谷なりにして④のように開ける。

④ ①の開いた部分に③のハート半分をはる。

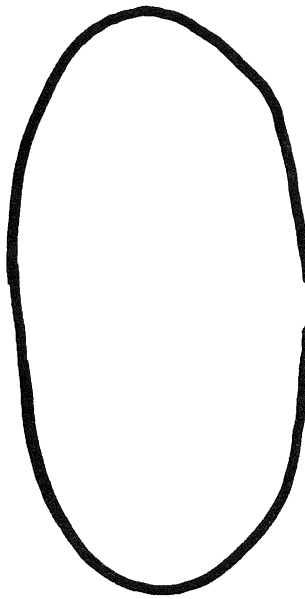
⑤ 順番に開いていく、



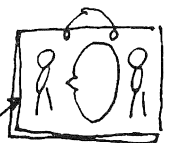
① 罪のいびが ③ イエス様の十字架で ④ きれいないになりました。



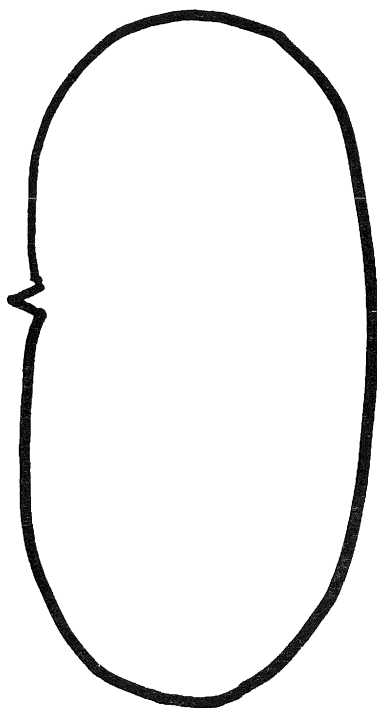
みよ、よのつみをとりのぞくかみの
こひつじ。 ヨハネ1・29



- ①太線ひき取り取る。
- ②絵に色を塗る。
- ③アンナのふきだしにイエスの紹介をしたみことばを書く。
- ④絵の書いていない方は、左に自分の絵、右におともだちの絵の名前を書いてふきだしにイエス様おどのような方が紹介する言葉を書く。字の書けないおともだちは先生が書いてあげてください。
- ⑤---をよけりにし、のりではりつけ。ひもを通じ壁かきにも良い。

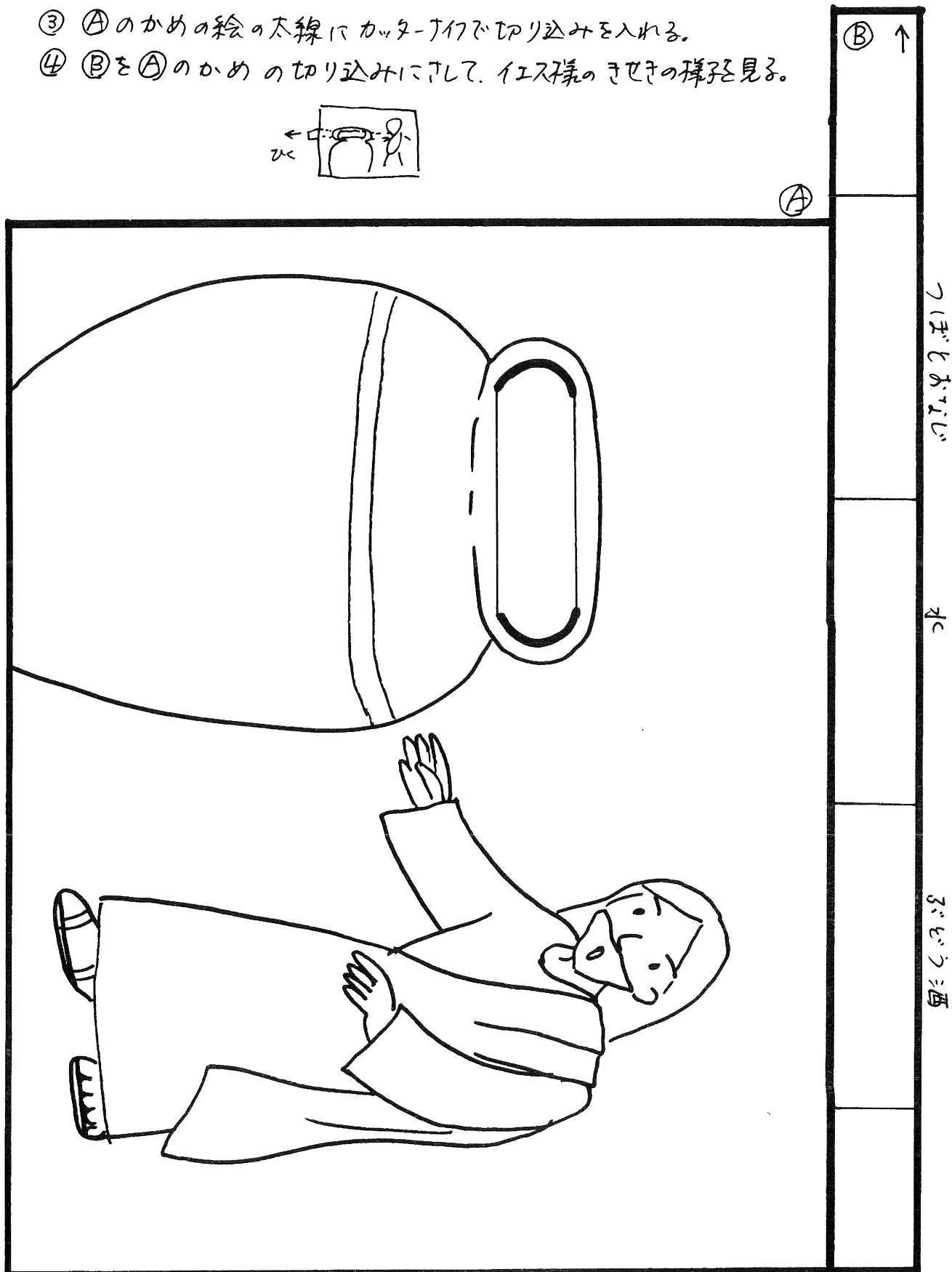


のりづけ

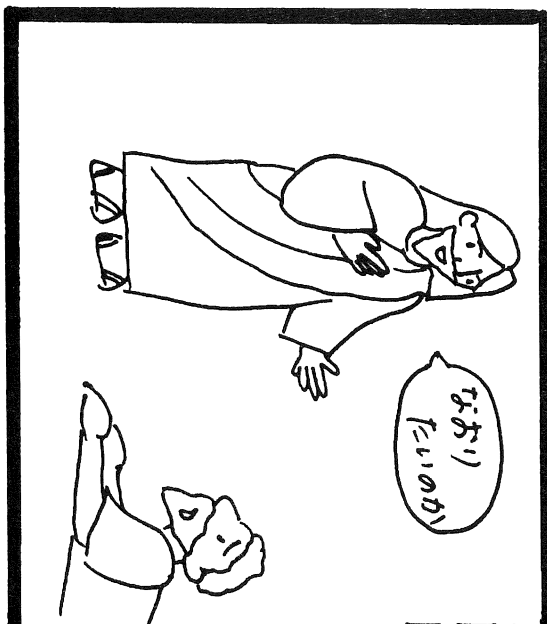


みよ、よのつみをとりのぞくかみの
こひつじ。 ヨハネ 1・29

- ① 絵に色をぬる。
- ② 太線で切る。
- ③ ①のかめの絵の太線にカッターナイフで切り込みを入れる。
- ④ ②を①のかめの切り込みにして、イエス様のきせきの様子を見る。

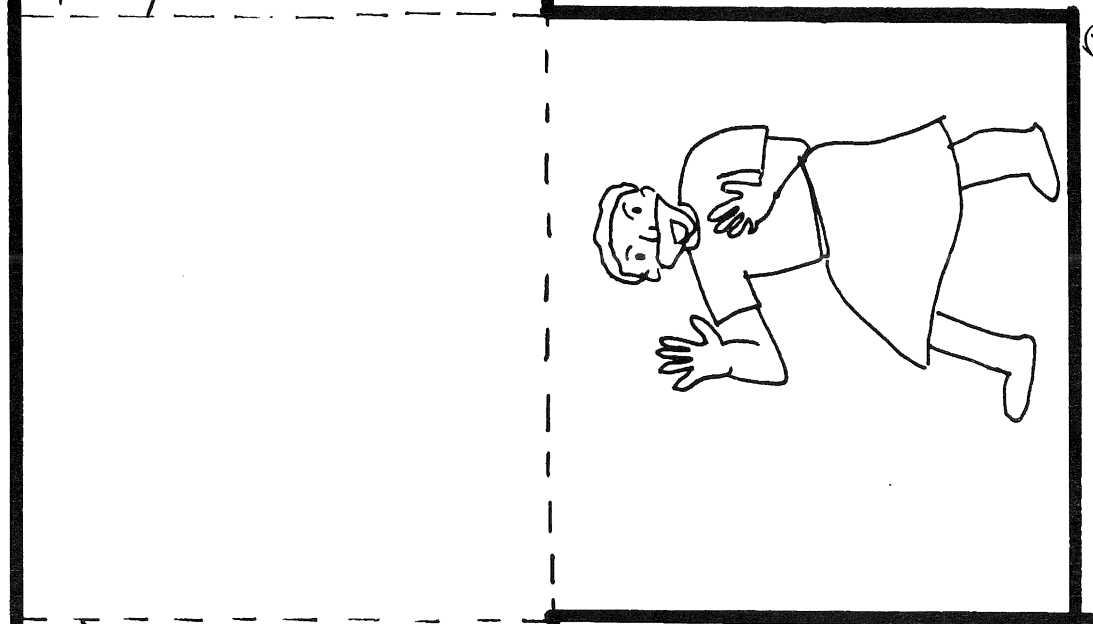
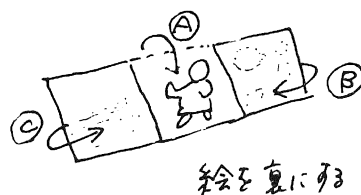


みよ、よのつみをとりのぞくかみの
こひつじ。 ヨハネ 1・29



②

- ① 絵に色を塗る。
- ② 太線で切り取る。
- ③ ---を山折りにする。①、②、③の順番に。



③



①

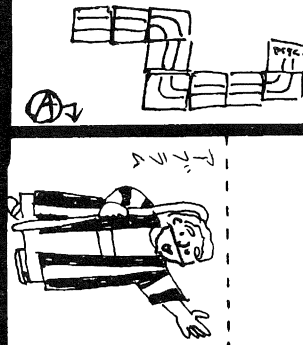
A 2011 8月7日 したがおう！かみさまがみちびかれるままに

- ① 太い線で切り取る。
- ② ④の白紙の部分に自分の顔を書く。
- ③ 道とまわりに色をぬいてもいい。

- ④ 2～3人のグループでじゃんけんして順番を決め、勝った順に道カードを並べる。
自分のおいたカードにアブラムを遊ませる。
- ⑤ 道カードを全部出し、約束の地カードをおいた人が勝ち。

わたしがしめすちへいきなさい。
そうせいき12・1

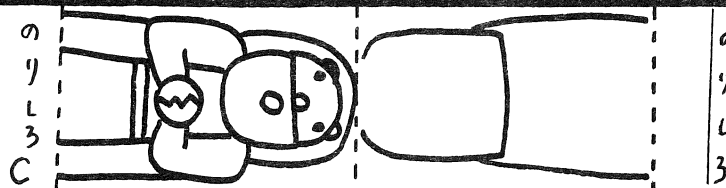
やくそくのち



アブラムはしゅをしんじた

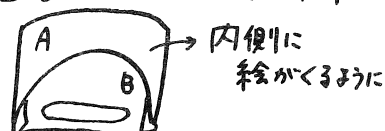
あをまに まにまに こをまに
おにまにせむ

かみさまは
やくそくを まもってください！



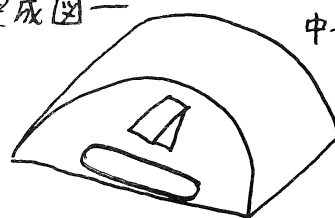
① A・B・Cに色をぬり
切り取る。

② AをBに図のように^ははり付ける。



③ Cを図のように組み立て
星空を見るようにBの^は中央に^ははり付ける。


—完成図—



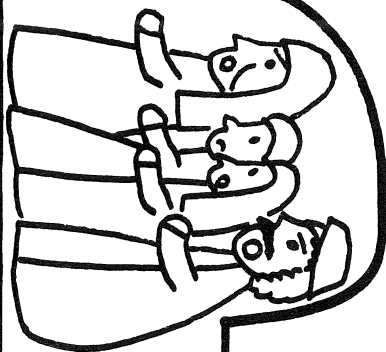
—— 切り取り線
----- 山折り線
- - - - 谷折り線

ワ

ダ

- ① A・B・Cに色をぬり
切り取る。
- ② Aに切り込みを入れる。
- ③ Cの  部分を
Bの のりこ部に 見張り
付け、折り目をつける。
- ④ Aの切り込み部に
Bの 帯を差し入れ、
Bを左右に動かす。

つ
に

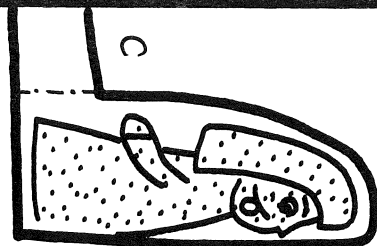


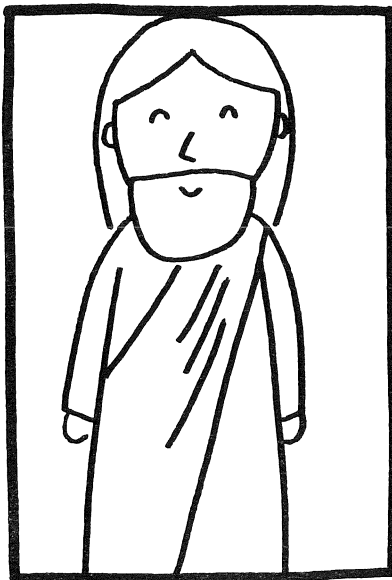
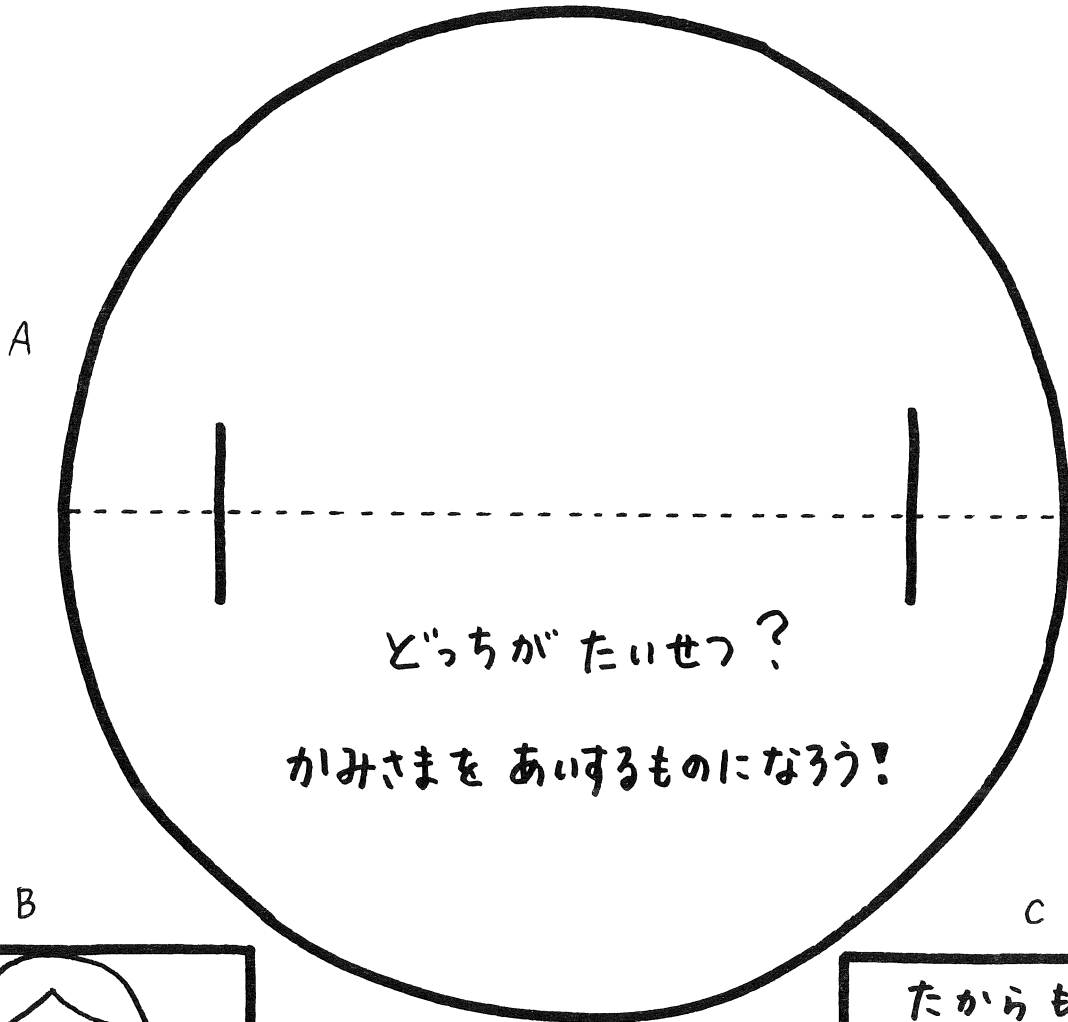
＊ ソドム・ゴモラを
出た時にはCを裏返しに
し、山に逃げる途中で
表に返して、
ロトの妻が塩の柱に
なったことを覚えよう。

— 完成図 —

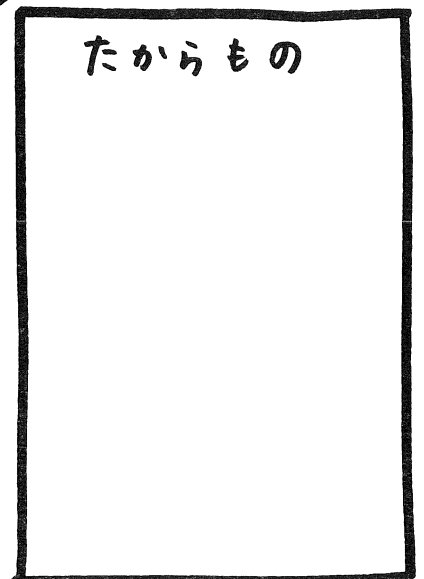


—— 切り取り線
----- 谷折り線





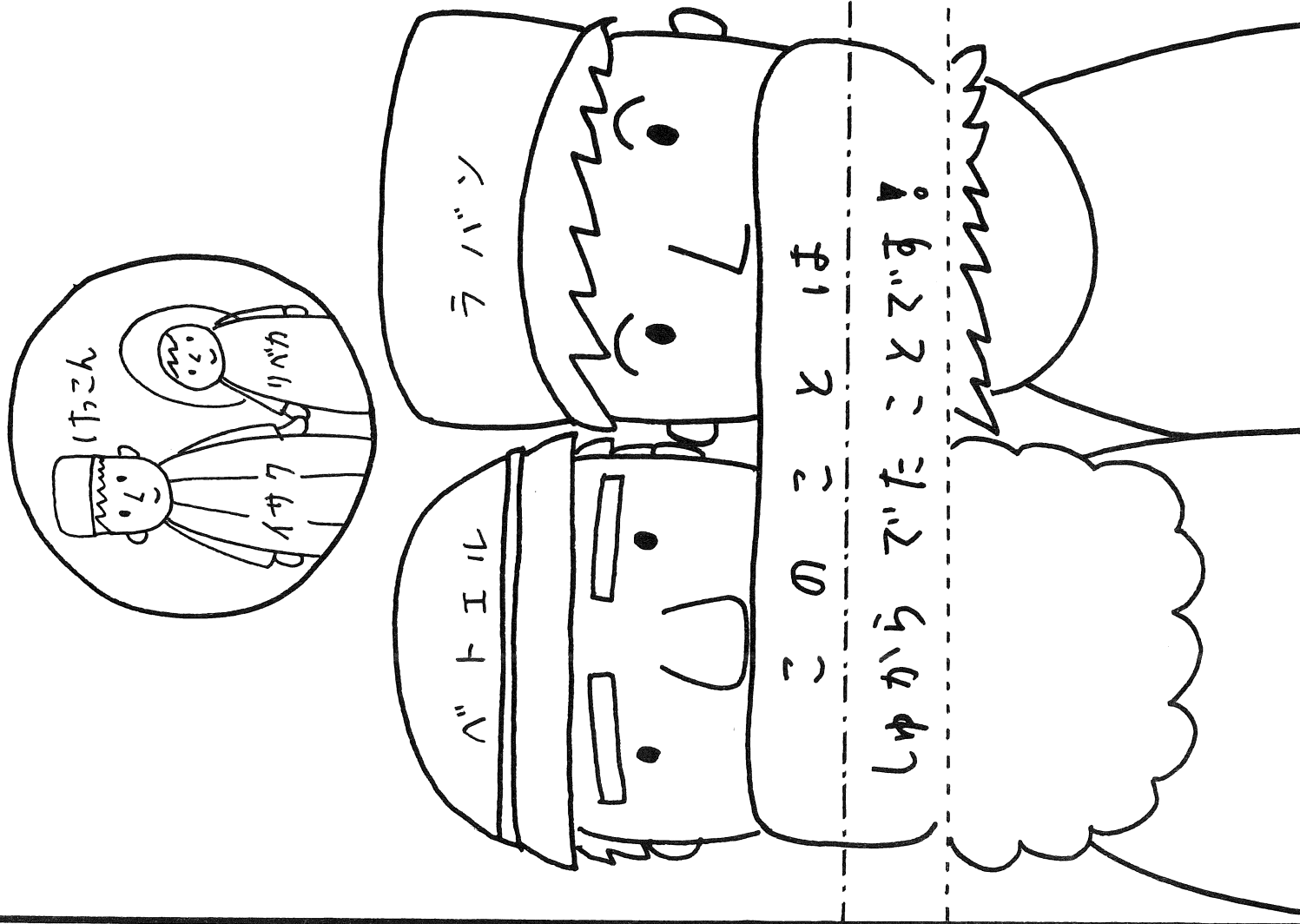
- ① Cに自分の宝物の糸を^か描き切り取る。
- ② A・Bに色をぬり切り取る。
- ③ Aを中央で山折りし、折ったま^ま切り込みを入れる。
- ④ B・CをAの切り込みにはさむ。



—完成図—

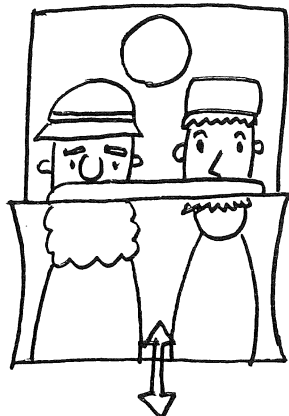
—— 切り取り線
----- 山折り線





A

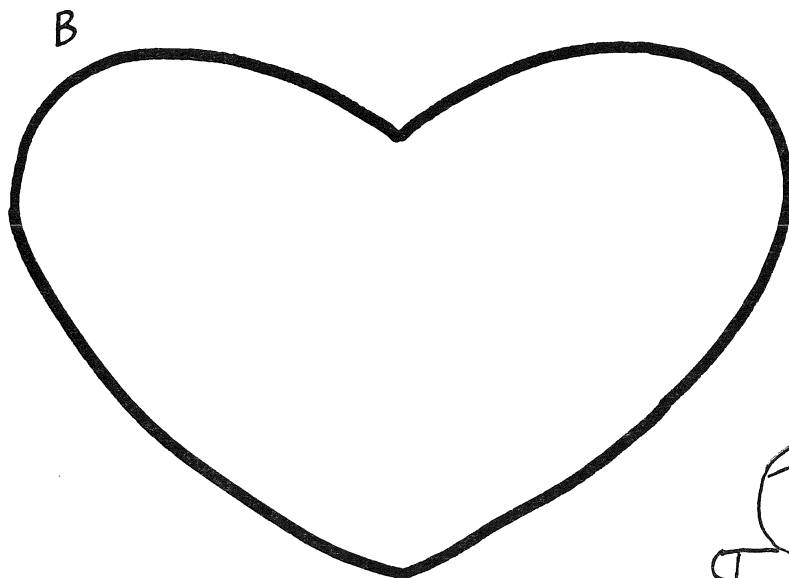
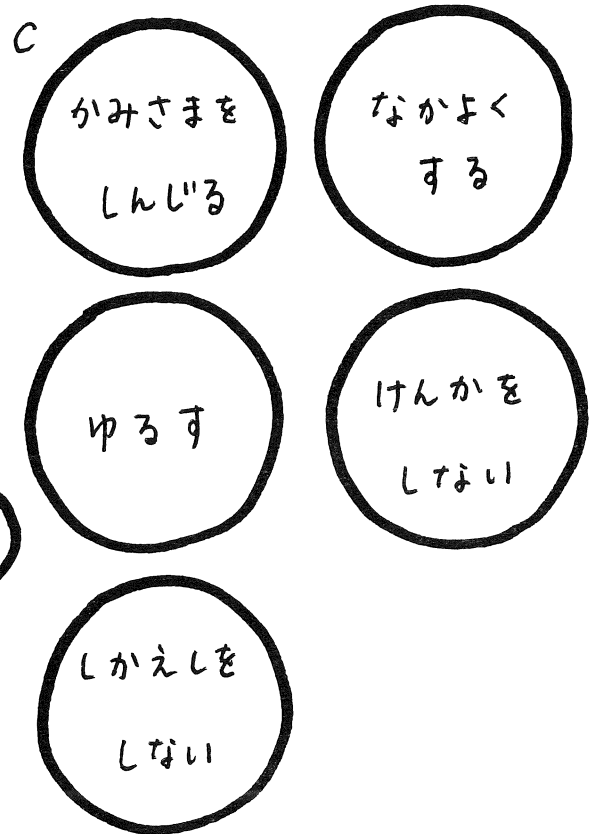
- ① Aに色をぬり切り取る。
- ② 山折り線と谷折り線を折る。
- ③ Aの下部を持って上下に動かす。



—— 切り取り線
- - - 山折り線
- · - 谷折り線

にゅうわなひとたちは、さいわいである。

マタイ 5・5



① A・B・C に色をぬり
切り取る。

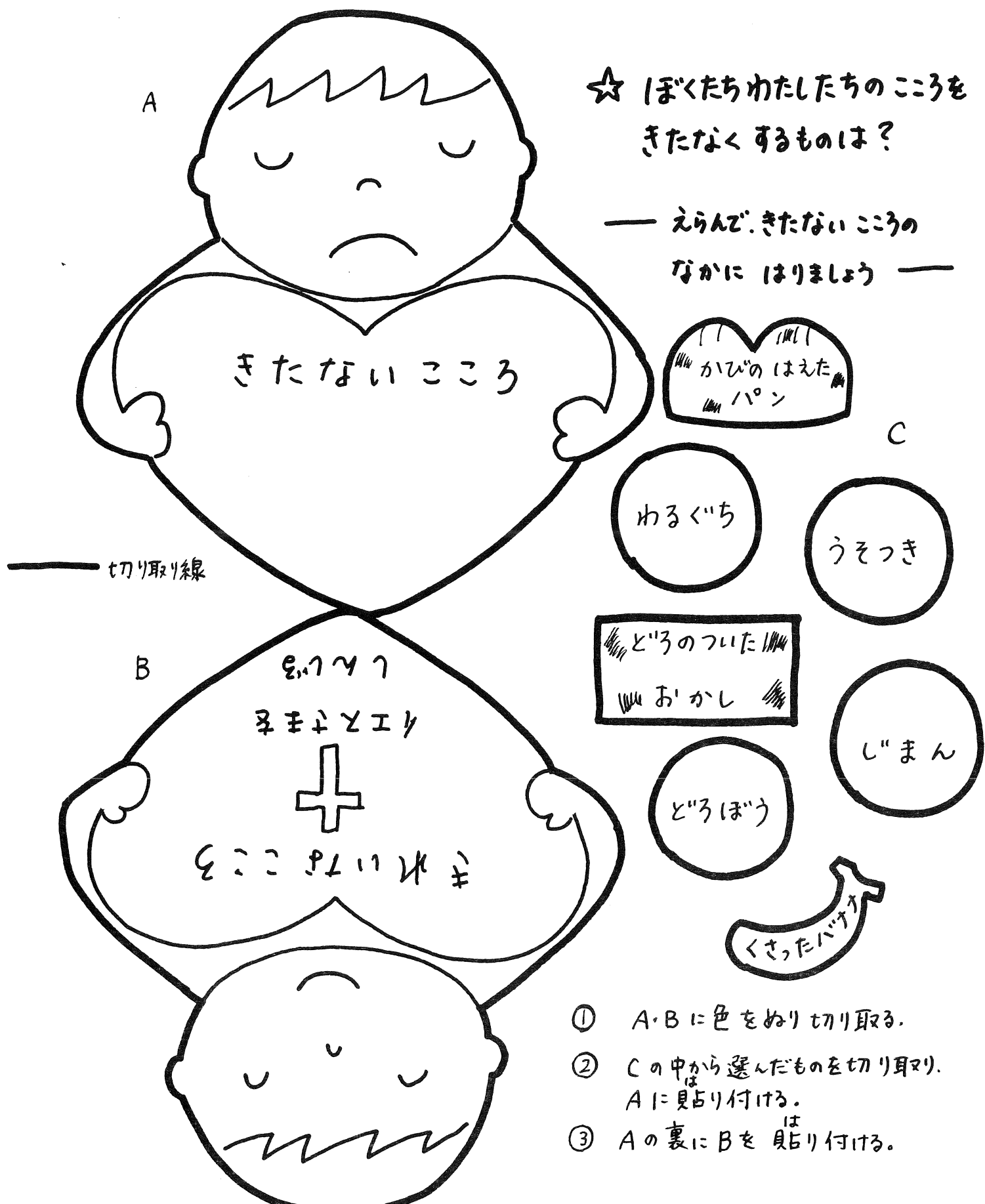
② C を B に^は貼り付ける。

③ A・B を 図のように
ひもでつなげる。

—完成図—

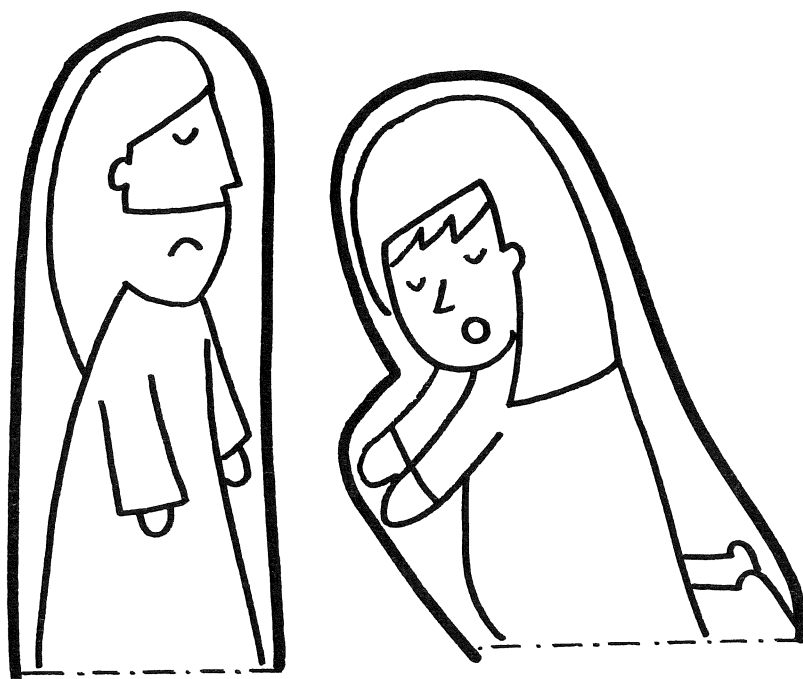


— 切り取り線



☆ ぼくたちわたしたちのころを
きたなくするものは？

—— えらんだ、きたないころの
なかに はりましょう ——



— あなたの しんこうは みあげたものである —

A

- ① Aに色をぬり、切り取り線に切り込みを入れる。
- ② イエス様、女の人の足元の谷折り線を折り、立たせる。
- ③ 女の人を指で押し、何回もイエス様のもとにひれ伏し、お願いしたことを覚える。

— 完成図 —



——— 切り取り線

- - - - - 谷折り線

ワーク A 解説 7~9月

(7/3~8/7 吉田美穂、8/14~9/25 鎌野幸)

7/3

●話し方のヒント

今から数千年も前に神様を信じるノアという人がいました。ノアの住んでいたときの人々は、悪いことをする人が多く、神様を信じていませんでした。ですから、神様はそのことを悲しまれ、世界を滅ぼすことにしたのです。神様は神様を信じ、忠実であったノアの家族を救うために、ノアに「箱舟を作るように」と命令を与えました。ノアは、その命令に従って箱舟を作りました。完成した後、神様に言われたとおり動物を箱舟に乗せ、ノアの家族も箱舟に入りました。すると、神様が箱舟の戸を閉じられたのです。ノアではなく、神様が戸を閉じられたということは、救いは神様にしかできないことを示しています。私たちも救われるためには神様のひとり子であり、箱舟であるイエス様を信じることです。あなたは、イエス様を信じますか。

●ワークについて

ノアの箱舟を作って遊びましょう。そして、ノアたちが水の上でどのように過したのか考えましょう。

7/10

●話し方のヒント

皆さんは嘘をついたことがありますか。どうして嘘をついてしまうのでしょうか。それは、私たちの心に罪の心があるからです。罪の心は悪いことを考え、それを実行してしまうことです。聖書には、私たちは罪人だと書かれています。その罪の心が、きれいな心になるためにはどうしたら良いのでしょうか。その答えは、聖書に書いてあります。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」と書いてあるように、イエス様だけが私たちの罪の心をきれいな心に変えてくださることができます。私たちの罪の身代わりとして、十字架にかかってくださったイエス様を信じましょう。

●ワークについて

イエス様の十字架によって、罪の心がきれいな心になることを覚えましょう。

7/17

●話し方のヒント

漁師をしていたシモンとアンデレという兄弟がいました。弟のアンデレはバプテスマのヨハネの弟子で、イエス様のことを知っていました。そのイエス様に出会ったとき、アンデレはうれしくなってシモンにイエス様のことを伝えに行きました。そしてイエス様を紹介したのです。なんと行って紹介したのでしょうか。「救い主キリスト」と言ったのです。そしてイエス様の弟子となり、多くの人に救われた喜びを伝える人になりました。皆さんはイエス様のこと知っていますか。イエス様はどのようなお方ですか。アンデレのようにイエス様を伝える人になればよいですね。

●ワークについて

アンデレがイエス様を伝える場面を見ながら、自分に置き換えて考えてみましょう。

7/24

●話し方のヒント

イエス様と弟子たちが、伝道の働きのために旅をしていました。ある日、カナという町に入られると、結婚式が行われていました。結婚식을盛り上げるためには、ぶどう酒はとても大切でした。しかし、そのぶどう酒がなくなってしまったのです。イエス様のお母さんであるマリヤは、イエス様に相談しました。イエス様なら何とかしてくださると信じていましたが、イエス様が言われたのは「かめに水を入れなさい」ということでした。しもべは、ぶどう酒が必要なのに水を入れるのか不思議に思ったことでしょう。しかし、イエス様は水をぶどう酒に変える力をもって奇跡を行いました。イエス様は私たちの心が悲しみでいっぱいになっていても、その悲しみを喜びに変えてくださるお方です。

●ワークについて

イエス様が水をぶどう酒に変えられたように、私の心も変えてくださることを覚えましょう。

7/31

●話し方のヒント

38年間病気で寝たきりの人がいました。どんなに治療をしても治らないので、ベテスダの池に連れてこられたのです。この池は不思議な池で、年に数回池の水が動く時があり、その時に池に入ると病気が治るといわれていたのです。しかしこの人は体が不自由で、水が動いても池に入ることができずにいました。ある時、イエス様が来られて、彼が長い間、病気で苦しんでいることを知られました。そして、「おきて、床を取り上げ、そして歩きなさい」と言われたとき、この人は起きて立ち上がることができたのです。今までの人生はつらく悲しい人生でしたが、イエス様に出会い奇跡を体験することで、この人は新しい人生を歩みだすことができました。私たちもイエス様を信じて喜びに満たされた新しい人生を歩みましょう。

●ワークについて

イエス様には奇跡を行う力があることを覚えましょう。

8/7

●話し方のヒント

今からずっと昔のことです。アブラムというおじいさんがいました。ある時、神様がアブラムに「親戚や親しい人たちも、国も捨てて旅に出なさい。行き先は私が教えるから」と言われました。皆さんは行き先を知らないで出かけたことがありますか。そのような人はいないでしょう。アブラムは自分の気持ちや願いよりも、神様のお言葉を第一にしたのです。そして、神様のことを第一にするなら、神様は必ず良いことをしてくださると約束もしてくださいました。この約束は私たちにも与えられています。神様を一番大好きになって、神様の思いを大切にしましょう。そうすれば、私も、そして私のお友達も神様から祝福されるのです。

●ワークについて

アブラムは自分の思いではなく、神様に導かれて旅をしたことを覚えましょう。

8/14

●話し方のヒント

神様を信じて、ふるさとから旅立ったアブラムのことを神様は喜ばれ、「あなたの家族はどんどん増えて行きます」と、約束してくださいました。けれどもアブラムが年をとっても、子どもは与えられません。「神様の約束はどうなったのだろう」。神様は心配でいっぱいのアブラムを外に連れ出し、満天の星を見せて、「あなたの子孫はあのようなになるでしょう」と、語られました。アブラムは「そんなこと、できるはずがない」と言わず、神様には何でもできると信じました。私たちも、神様には何でもでき、必ず約束を守ってくださいと信じましょう。

●ワークについて

アブラムは夜空の星を見て、神様を信じたことを覚えましょう。

8/21

●話し方のヒント

「罪深いソドムとゴモラの町を滅ぼすから、あなたたちはあの町に逃げなさい」。神様は、神様を信じるロトの家族を救うために教えてくださいました。ロトと家族は神様の言葉に従って逃げました。示された町に着いた時、ソドムとゴモラに火が降り、町が燃え始めました。「私の家は、大切な物はどうになってしまうの…」神様から「うしろをふりかえって見てはならない」と言われていたのに、ロトの妻は罪の町を心残りに思っ、うしろを見てしまいました。そして塩の柱になってしまいました。罪深いものに心を残さず、私たちを救ってください神様の導きに従いましょう。

●ワークについて

ロトの妻がうしろを振り返ってしまい、塩の柱になったことを覚えましょう。

8/28

●話し方のヒント

神様は、神様を信じたアブラハムが百歳の時、約束の子イサクを与えられました。イサクはアブラハムの大切な宝物でした。ある日神様はアブラハムに、「イサクをいけにえとしてささげなさい」と、語られました。神様のために、イサクを殺して火で燃やさなければいけないのです。アブラハムは悩みましたが、神様を一番大切にしようと、イサクをささげることにしました。すると神様は、神様を一番にしたアブラハムが悲しむことがないように、イサクのかわりにささげる雄羊を与えてくださいました。私たちも、何よりも神様を一番にして行きましょう。

●ワークについて

どんな宝物より、神様を大切にすることを覚えましょう。

9/4

●話し方のヒント

アブラハムの召使は、イサクのお嫁さんを探すために出かけて行きました。神様に「ふさわしいお嫁さんに出会わせてください」と祈ると、優しい娘リベカに出会いました。「この娘こそ、神様が決めてくださった人だ」と信じて、リベカの父と兄に話をすると、「このことは神様から出たことです」と、喜んでリベカとイサクの結婚を許してくれました。リベカも、「この結婚は神様の決めてくださったことなので、従います」と決心しました。いつもお祈りをしていると、神様のご計画がわかり、神様に一番良いことをしていただくことができます。

●ワークについて

みことばを覚え、イサクとリベカの結婚は神様のご計画だったことを知りましょう。

9/11

●話し方のヒント

イサクはいろんな苦勞をしましたが、神様に祝福されてお金持ちになりました。イサクはお金持ちになったことで、周りの人たちからねたまれました。ペリシテ人には井戸を土で埋められ、住んでいた所から追い出されました。他の場所に移って井戸を掘ると、羊飼いたちが二回もイサクの井戸を奪いました。けれどもイサクは、どの時も決して「何をするんだ、この井戸は私のものだ」と言ってけんかをするのではなく、相手を許しました。「どんな時も神様が共にいて助けてくださる」と、信じていたからです。私たちもイサクのような柔和な人になりたいですね。

●ワークについて

柔和な人とは、どんな人なのかを知りましょう。

9/18

●話し方のヒント

イエス様の時代の偉い先生たちは、「汚い」と言われている物を食べると、汚く罪深い人になると思っていました。けれどもイエス様は、「心の中に汚い罪の思いを持っていると、悪いことをするようになり、罪で汚れた人になるのです」と、おっしゃいました。「あの子キライ」と思っていると、その子をいじめるようになります。「あのおもちゃが欲しい、欲しい」と思っていると、盗んでしまうことがあります。私たちの罪のために十字架にかかれたイエス様を信じて、汚い罪の思いを取り除いていただき、罪を犯さない、清い私たちにしていただきましょう。

●ワークについて

私たちの心を汚すものは、食べ物ではなく、罪の思いであることを知りましょう。

9/25

●話し方のヒント

悪霊にとりつかれて苦しんでいる娘のいる、カナン人の女の人が、イエス様の所にやってきて、「イエス様、私をあわれんでください」と、しつこく叫びました。なぜかイエス様は女の人に答えず、しばらく黙っておられましたが、ついに口を開かれ、「私はイスラエル人は助けますが、カナン人を助けている暇はありません」「あなたのような人を助けてあげることはできません」と、おっしゃいました。しかし何度断られても、女の方はイエス様にすがりついて、一生懸命願ひ続けました。するとイエス様は、「あなたの信仰は見上げたものである」とおっしゃり、娘を癒されました。愛する人のために、決してあきらめずにイエス様を信じて祈り続けるなら、必ずイエス様は助けてくださいます。

●ワークについて

カナン人の女の人のように、あきらめずに何度も、イエス様にお願いすることを覚えましょう。